



サーバ管理ツール



Adminaid

for Server Administration

操作マニュアル

Adminaid 操作マニュアル

本マニュアルで説明するソフトウェア（Adminaid）はお客様とのソフトウェア使用許諾契約に基づき提供されます。本マニュアルで説明するソフトウェア（Adminaid）は使用許諾契約条件に基づきご使用頂く必要があります。

■ 著作権情報

Copyright © 2013 A.T.WORKS, Inc. All rights reserved.

本マニュアルおよび本マニュアルで説明するソフトウェア（Adminaid）に関連する印刷物の著作権および所有権は、株式会社エーティーワークスに帰属し、日本国著作権法およびその他の関連する法律によって保護されます。

株式会社エーティーワークスは本マニュアルの記述のいかなる誤りに対しても責任を負うものではありません。

また、株式会社エーティーワークスは本マニュアルの記述の使用によるいかなる結果に対しても責任を負うものではありません。本マニュアルはお客様の責任で使用してください。

本マニュアルの内容は情報提供のみを目的としており、予告なしに変更される場合があります。

事前に株式会社エーティーワークスによる許可がない限り、本マニュアルのいかなる部分も複製することはできません。

また、株式会社エーティーワークスによる許可がない限り、本マニュアルを配布することはできません。

目次

P.3	第 1 章	はじめに
	4	1. Adminaid とは
	5	2. 動作環境
P.7	第 2 章	機能説明
	8	1. ログイン
	9	2. 画面構成
	10	3. ユーザ管理
	10	ユーザ
	15	グループ
	17	メール転送
	19	4. WEB サーバ
	19	基本
	22	バーチャルホスト管理
	27	アクセス解析設定
	29	5. DNS サーバ
	35	6. メールサーバ
	39	7. システム状態
	39	メモリ容量
	40	ディスク容量
	41	負荷状況
	42	トラフィック状況
	43	8. システム管理
	43	サービス管理
	44	ネットワーク確認
	45	DNS 設定
	47	日付/時刻確認
	48	サーバ再起動
	49	9. システムログ
	50	10. プロセス管理

52	11. アクセス環境
55	12. スケジューリング
58	13. ドメイン管理
58	システムドメイン管理
60	バーチャルドメイン管理
65	14. Adminaid 管理
65	ライセンス管理
67	アクセス管理
69	パスワード変更
70	バージョン
P.71	付録 A 入力項目仕様
72	ユーザ管理入力項目仕様
73	Web サーバ入力項目仕様
74	DNS サーバ入力項目仕様
74	メールサーバ入力項目仕様
75	システム管理入力項目仕様
75	システムログ入力項目仕様
76	アクセス環境入力項目仕様
76	スケジューリング入力項目仕様
77	ドメイン管理入力項目仕様
78	Adminaid 管理入力項目仕様

第1章

はじめに

1. Adminaid とは 4

2. 動作環境 5

1. Adminaid とは

この度は、Adminaid をご利用いただき誠にありがとうございます。

株式会社エーティーワークスは、創業当時より、AT 互換機に PC-UNIX をインストールしたサーバ機器の販売をおこなってきました。1996 年には広告制作を手がける株式会社リンクと業務提携を結び、共同事業として at+link 専用サーバ・サービス (at+link) をスタートしました。その at+link は、ユーザ指向のサービスと親切なサポートをコンセプトに 2012 年 10 月現在およそ 20000 台超の稼働実績をもち、専用サーバフィールドのコンセプトリーダー、プライスリーダーとしての地位を確立しています。

Adminaid は、at+link において培ってきた管理・運用ノウハウと、お客様の要望に基づいて開発したサーバ管理者用のコントロールパネルです。従来のコマンドラインによる面倒なサーバ管理方法を見直し、Web ベースのユーザインターフェイスと、最少限の情報入力による自動設定機能を提供しています。

【Adminaid 利用時のメリット】

1. Web ブラウザによるサーバの状況確認・設定変更が可能です。
2. グラフィカルなユーザインターフェイス・管理メニューにより、必要な設定項目を素早く見つけることができます。
3. 日本語による操作説明およびマニュアルが付属しています。
4. 必要な項目を入力するだけでサーバの初期設定ができます。
5. コマンドラインによる設定方法がわからない方でもサーバが構築可能です。
6. 入力内容のチェックがおこなわれるため、単純な設定ミスを防ぐことができます。
7. アクセス制限設定が可能なため、より安全に運用できます。
8. Web サーバ、メールサーバ、DNS サーバ、バーチャルドメインなどの複雑な設定も、設定ファイルが自動的に生成されるため、簡単に設定することができます。
9. 従来のコマンドラインからのサーバ管理作業に比較し、短時間で設定可能なため、管理コストの低減を図ることができます。

2. 動作環境

1

はじめに

■ サーバ

CPU	Intel® Core™ 2 Duo プロセッサ プロセッサ以上を推奨 ^{※1}
メモリ容量	1GB 以上を推奨
ハードディスク	空き容量 30 MB 以上
必要ハードウェア	CD-ROM ドライブ (CD-ROM からインストールをおこなう場合) ネットワークインターフェース
対応 OS	Red Hat Enterprise Linux 6 (x86_64) CentOS6 (x86_64) ^{※2}

※1 Intel、インテル、Intel Inside、Intel Inside ロゴ、Core はアメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。

※2 SELinux 機能を“無効”に設定していただく必要があります。

■ 管理コンソール

動作確認済ブラウザ	Microsoft Internet Explorer 8 以降
	Mozilla Firefox 15 以降
	Google Chrome 21 以降

 JavaScript は必ず有効に設定してください。
JavaScript を無効にした場合、機能が正常に動作しなくなります。

 同じポップアップメッセージが表示される操作を繰り返し行った場合、「ダイアログ表示を抑制する」というチェックボックスが表示される場合がありますが、このチェックボックスをチェックしないでください。チェックした場合、正常に動作が行われなくなりますので、ご注意ください。

第2章

機能説明

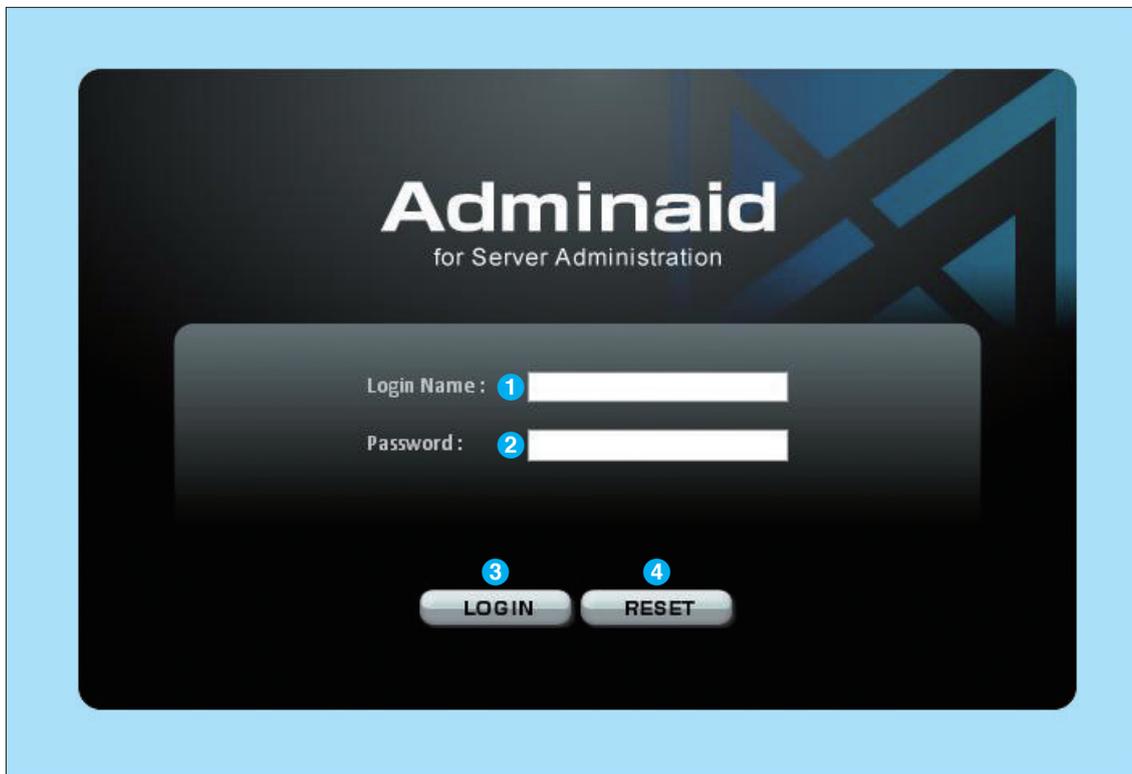
1. ログイン	8
2. 画面構成	9
3. ユーザ管理	10
4. Web サーバ	19
5. DNS サーバ	29
6. メールサーバ	35
7. システム状態	39
8. システム管理	43
9. システムログ	49
10. プロセス管理	50
11. アクセス環境	52
12. スケジューリング	55
13. ドメイン管理	58
14. Adminaid 管理	65

1. ログイン

Adminaidのログインページです。管理者アカウントおよびサイト管理者アカウント共に本画面よりログインします。

2

機能説明



1 Login Name

管理者アカウントもしくはサイト管理者アカウントを入力します。



サイト管理者の場合、【アカウント@ドメイン名】を入力してください。
(例) admin@example.co.jp

2 Password

アカウントに対応したパスワードを入力します。

3 LOGIN

Login Name および Password 入力後押しログインします。

4 RESET

Login Name および Password を初期化します。



各入力項目の入力仕様は72ページの「Adminaid 入力仕様一覧」を参照してください。

2. 画面構成

Adminaid の画面構成について説明します。

The screenshot shows the Adminaid web interface. On the left is a sidebar menu (1) with items like 'ユーザー管理', 'Webサーバ', 'DNSサーバ', 'メールサーバ', 'システム状態', 'システム管理', 'システムログ', 'プロセス管理', 'アクセス環境', 'スケジューリング', 'ドメイン管理', and 'Adminaid 管理'. The main content area (2) displays 'システム状態' with tabs for 'メモリ容量', 'ディスク容量', '負荷状況', and 'トラフィック状況'. A table shows memory usage details:

	合計	使用中	空き	共有	バッファ	キャッシュ
Mem	1,020,844	583,984	436,860	0	68,780	261,024
-/+ buffers/cache		254,180	766,664			
Swap	987,988	0	987,988			

In the top right corner, there is a 'ログアウト' button (3).

1 モジュールリスト

各種モジュールをリスト表示しています。各モジュールをクリックすると対象モジュールを選択することができます。

2 メイン画面

各種モジュールの操作および情報を表示する領域です。

3 ログアウト

現在のアカウントをログアウトする場合、クリックします。

3. ユーザ管理

ユーザ

ユーザ情報を確認・変更・削除する場合に使用します。

■ ユーザリスト

ユーザの一覧を表示します

ユーザ	グループ	メールアドレス	ログイン	FTP	クリア
homepage	homepage	homepage@example.co.jp	有効	有効	編集 削除
user	users	user@example.co.jp	無効	無効	編集 削除

1 ユーザ

ユーザのログイン名を表示します。システムログイン、FTP、メールの送受信で使用します。

2 グループ

ユーザが所属しているグループを表示します。グループ名がバーチャルドメインの場合、そのバーチャルドメインに所属したユーザであることを表します。

3 メールアドレス

ユーザに対応したメールアドレスを表示します。

4 ログイン

対象ユーザがログイン可能かを表示します。

5 FTP

対象ユーザがFTP 接続可能かを表示します。

6 絞り込み

「ユーザ」「グループ」「メールアドレス」の下の入力枠に文字を入力後、クリックすることで入力した文字を含んだユーザに絞り込んで表示します。

複数の入力枠に文字を入力した場合、さらに絞り込まれて表示します。

7 クリア

「ユーザ」「グループ」「メールアドレス」の絞り込み条件をクリアして一覧を再表示します。

8 ユーザ追加

ユーザを新規作成します。



ユーザの新規作成手順は 12 ページの「ユーザ作成手順」を参照してください。

9 編集

対象ユーザの情報を編集します。



ユーザの編集手順は 13 ページの「ユーザ編集手順」を参照してください。

10 削除

対象ユーザを削除します。



ユーザの削除手順は 14 ページの「ユーザ削除手順」を参照してください。

ユーザ作成手順

1 ユーザリストより、「ユーザ追加」をクリックします。

2 ユーザ追加 / 編集画面がポップアップしますので、入力項目を入力してください。

a ユーザ名*

ユーザ名を入力します。

a パスワード*

ユーザのパスワードを入力します。

a 再入力*

確認のため、パスワードに入力した文字列を入力します。

d グループ*

ユーザが所属するグループを選択します。

バーチャルドメインに所属するユーザを作成する場合、バーチャルドメインのグループを選択します。

e メールアドレス

バーチャルドメイン有効時は、メールアドレスを設定します。バーチャルドメイン無効時は、メールアドレスは固定設定します。

f ログイン可

ユーザをログイン可能にする場合、チェックをいれます。

g FTP 可

ユーザをFTP 接続可能にする場合、チェックをいれます。

h 決定

クリックすると、ユーザを新規作成します。

i キャンセル

ユーザ作成をキャンセルし、この画面を閉じます。

バーチャルドメイン無効時

バーチャルドメイン有効時



*マークの入力項目は入力必須項目です。



各入力項目の入力仕様は72ページの「Adminaid 入力仕様一覧」を参照してください。

3 決定ボタンをクリックしてください。

4 追加したユーザはユーザリストにて確認することができます。

ユーザ編集手順

1 ユーザリストより、編集したいユーザの「編集」をクリックします。

2 ユーザ追加 / 編集画面がポップアップしますので、入力項目を入力してください。

a ユーザ名*

ユーザ名は編集できません。

b パスワード*

変更する場合のユーザのパスワードを入力します。

c 再入力*

確認のため、パスワードに入力した文字列を入力します。

d グループ*

ユーザが所属するグループを選択してください。

e メールアドレス

バーチャルドメイン有効時は、メールアドレスを設定します。

f ログイン可

ユーザをログイン可能にする場合、チェックをいれます。

g FTP 可

ユーザを FTP 接続可能にする場合、チェックをいれます。

h 決定

クリックすると、ユーザ情報を編集します。

i キャンセル

ユーザ編集をキャンセルし、この画面を閉じます。

バーチャルドメイン無効時

バーチャルドメイン有効時

! *マークの入力項目は入力必須項目です。

👉 各入力項目の入力仕様は 72 ページの「Adminaid 入力仕様一覧」を参照してください。

3 決定ボタンをクリックしてください。

4 編集したユーザはユーザリストにて確認することができます。

ユーザ削除手順

1 ユーザリストより、削除したいユーザの「削除」をクリックします。

2 ユーザ削除画面がポップアップします。

a キャンセル

ユーザ削除をキャンセルし、この画面を閉じます。

b 削除

クリックすると、ユーザを削除します。



3 削除ボタンをクリックしてください。

! 削除を実行すると、ユーザデータ（対象ユーザのホームディレクトリ）も削除します。
必要に応じて削除の前にバックアップを取ってください。

4 ユーザリストより、対象ユーザが削除されている事を確認することができます。

グループ

グループ情報を確認・作成・削除する場合に使用します。

■ グループリスト

グループの一覧を表示します。



① グループ

グループを表示します。グループ名がバーチャルドメインの場合、そのバーチャルドメインに所属したユーザであることを表します。

② グループ追加

グループを新規作成します。



グループの作成手順は 16 ページの「グループ追加手順」を参照してください。

③ 削除

対象グループを削除します。



グループの削除手順は 16 ページの「グループ削除手順」を参照してください。

グループ追加手順

1 「グループ追加」をクリックします。

2 グループ追加 / 編集画面がポップアップしますので、入力項目を入力してください。

a グループ名

グループ名を入力してください。

b 決定

クリックすると、グループを新規作成します。

c キャンセル

グループ作成をキャンセルし、この画面を閉じます。



3 決定ボタンをクリックしてください。

4 追加したグループはグループリストにて確認することができます。

グループ削除手順

1 グループリストより、対象グループの「削除」をクリックしてください。

2 確認ダイアログが表示されますので「OK」をクリックしてください。



対象グループに所属しているユーザが存在する場合、削除することができません。
対象グループにユーザが所属していないことを確認後、実施してください。



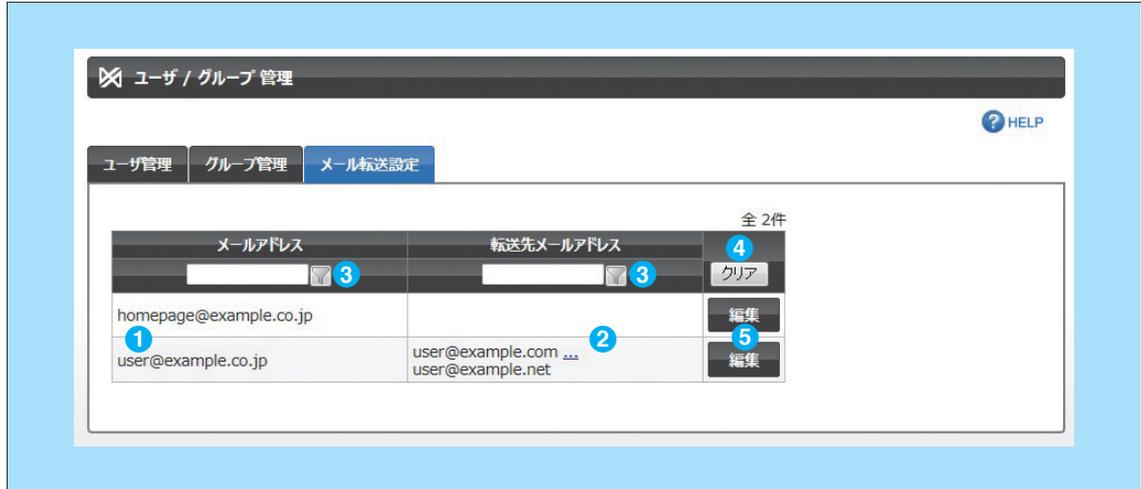
3 対象グループが削除されたことをグループリストにて確認することができます。

メール転送

ユーザに設定されているメールアドレスのメール転送設定をおこないます。

■ メール転送リスト

メール転送の一覧を表示します。



① メールアドレス

ユーザに対応するメールアドレスです。

② 転送先メールアドレス

メールアドレス宛のメールを転送する先のメールアドレスです。

③ 絞り込み

「メールアドレス」「転送先メールアドレス」の下の入力枠に文字を入力後、クリックすることで入力した文字を含んだユーザに絞り込んで表示します。
複数の入力枠に文字を入力した場合、さらに絞り込まれて表示します。

④ クリア

「メールアドレス」「転送先メールアドレス」の絞り込み条件をクリアして一覧を再表示します。

⑤ 編集

対象ユーザのメール転送設定を編集します。



メール転送設定の編集手順は 18 ページの「メール転送設定編集手順」を参照してください。

メール転送設定編集手順

2

機能説明

1 メール転送リストより、対象メールアドレスの「編集」をクリックします。

2 メール転送設定画面がポップアップしますので、必要項目を設定してください。

a メールアドレス

対象ユーザのメールアドレスを表示します。

b 転送先メールアドレス

転送先メールアドレスを入力します。

c 追加

転送先メールアドレスを複数設定したい場合、クリックします。

転送先メールアドレスの入力項目が追加します。

d “×”

設定した転送先メールアドレスを削除したい場合、クリックします。

e 転送メール保管

メールアドレスにメールを保管するかどうかを設定します。

チェックした場合、メールアドレスと転送先メールアドレスの両方でメールを受信することができます。チェックしなかった場合、転送先メールアドレスのみでメールを受信することができます。

f 決定

クリックすると、メール転送設定を設定します。

g キャンセル

メール転送設定をキャンセルし、この画面を閉じます。



3 決定ボタンをクリックしてください。

4 設定したメール転送設定はメール転送リストにて確認することができます。

4.WEB サーバ

Web サーバの設定変更を行います。

ホームページ公開に必要なコンテンツのアップロード先や、SSI・CGIの設定などをおこないます。

基本

基本ドメインの設定情報を表示します。



The screenshot shows a web management interface titled "Web サーバ管理". It has tabs for "基本", "バーチャルホスト管理", and "アクセス解析設定". A "設定変更" button with a "9" is visible. Below is a table of settings:

ドキュメントルート	1	/home/homepage/public_html
アクセスログ	2	/var/log/httpd/access_log
ログフォーマット	3	combined
エラーログ	4	/var/log/httpd/error_log
CGI	5	有効
SSI	6	有効
最大接続数	7	256
同時接続数	8	256

1 ドキュメントルート

Web コンテンツの設置フォルダです。

2 アクセスログ

基本ドメインのアクセスログの設置場所です。

3 ログフォーマット

アクセスログの記録形式です。

4 エラーログ

基本ドメインのエラーログの設置場所です。

5 CGI

基本ドメインで CGI が使用可能か表示します。

6 SSI

基本ドメインで SSI が使用可能か表示します。

7 最大接続数

Web サーバにアクセス可能な最大接続数です。

8 同時接続数

Web サーバに同時にアクセス可能な最大接続数です。

9 設定変更

基本ドメインの設定を変更します。



基本ドメインの設定変更手順は 20 ページの「基本ドメインの設定変更手順」を参照してください。

基本ドメインの設定変更手順

- 1 基本ドメイン表示画面より、「設定変更」をクリックします。
- 2 WEB サーバ設定変更画面がポップアップしますので、入力項目を入力してください。

a ドキュメントルート

Web コンテンツの設置フォルダを入力します。

b アクセスログ

基本ドメインのアクセスログの設置場所およびファイル名を入力します。

 アクセスログは、web サーバの ServerRoot の設定値（デフォルトは /etc/httpd/）からの相対パスとなります。

c ログフォーマット

アクセスログの記録形式を選択します。

combined	“common”、“referer”、“agent”を組み合わせた情報が記録される。
common	アクセス時間と閲覧ページが記録される。
referer	アクセス元のサイト情報が記録される。
agent	アクセスに用いられたブラウザ種別が記録される。



ログをアクセス解析ソフトで解析する場合は最も情報量が多い **combined** を設定してください。

d エラーログ

基本ドメインのエラーログの設置場所およびファイル名を入力します。

 アクセスログは、web サーバの ServerRoot の設定値（デフォルトは /etc/httpd/）からの相対パスとなります。

e CGI 利用

基本ドメインで CGI が使用可能にするか選択します。

f SSI 利用

基本ドメインで SSI が使用可能にするか選択します。

g 最大接続数

Web サーバにアクセス可能な最大接続数を設定します。

h 同時接続数

Web サーバに同時にアクセス可能な最大接続数を設定します。

i 決定

クリックすると、設定変更を実行します。

j キャンセル

設定変更をキャンセルし、この画面を閉じます。



3 決定ボタンをクリックしてください。

4 Web サーバのサービス起動もしくは再起動を実施してください。



Web サーバのサービス再起動手順は 43 ページの「サービス管理」を参照してください。

バーチャルHOST管理

バーチャルHOSTの設定情報を表示します。

! バーチャルHOST管理機能は有料モジュールのため、バーチャルHOST管理機能を使用するには対応したライセンスを購入する必要があります。

■ バーチャルHOST管理が無効な状態

バーチャルHOST管理を有効にするためのライセンス適用については以下のURLより、ライセンスの申し込みをしてください。

Eメールでライセンスファイルを送付致します。

URL : <https://www.atworks.co.jp/store/Send/>



👉 ライセンス更新手順は 66 ページの「ライセンス更新手順」を参照してください。



1 ドメイン

登録されているドメインのリストです。

2 バーチャルHOST追加

バーチャルHOSTを新規追加します。

👉 ドメインの新規追加手順は 23 ページの「バーチャルHOSTの新規追加手順」を参照してください。

3 編集

対象ドメインを編集します。

👉 ドメインの編集手順は 25 ページの「バーチャルHOSTの編集手順」を参照してください。

4 削除

対象ドメインを削除します。

👉 ドメインの削除手順は 26 ページの「バーチャルHOSTの削除手順」を参照してください。

バーチャルホストの新規追加手順

1 バーチャルホストリスト画面より「バーチャルホスト追加」をクリックします。

2 バーチャルホスト情報入力画面がポップアップしますので、入力項目を入力して下さい。

a **ドメイン名***

ドメイン名を入力します。

b **ホスト説明**

バーチャルホストの説明文を入力することができます。

c **IP アドレス***

ドメイン名と紐付ける IP アドレスを選択します。デフォルト値は、対象サーバの eth0 の IP アドレスとなります。

d **ドキュメントルート***

Web コンテンツの設置フォルダを入力します。

e **アクセスログ***

バーチャルドメインのアクセスログの設置場所およびファイル名を入力します。



アクセスログは、web サーバの ServerRoot の設定値（デフォルトは /etc/httpd/）からの相対パスとなります。

f **ログフォーマット**

アクセスログの記録形式を選択します。

combi ed	“common”、“referer”、“agent”を組み合わせた情報が記録される。
common	アクセス時間と閲覧ページが記録される。
referer	アクセス元のサイト情報が記録される。
agent	アクセスに用いられたブラウザ種別が記録される。



ログをアクセス解析ソフトで解析する場合は最も情報量が多い **combi**ed を設定してください。

g **エラーログ***

基本ドメインのエラーログの設置場所およびファイル名を入力します。



アクセスログは、web サーバの ServerRoot の設定値（デフォルトは /etc/httpd/）からの相対パスとなります。

h **CGI 利用**

バーチャルドメインで CGI が使用可能にするか選択します。

i **SSI 利用**

バーチャルドメインで SSI が使用可能にするか選択します。

① 決定
クリックすると、バーチャルホストの新規追加を実行します。

Ⓚ キャンセル
設定変更をキャンセルし、この画面を閉じます。



*マークの入力項目は入力必須項目です。



各入力項目の入力仕様は 72 ページの「Adminaid 入力仕様一覧」を参照してください。

③ 決定ボタンをクリックしてください。

④ 追加したバーチャルドメインがバーチャルホストリストに表示されていることを確認してください。

⑤ Web サーバのサービス起動もしくは再起動を実施してください。



Web サーバのサービス再起動手順は 43 ページの「サービス管理」を参照してください。

バーチャルホストの編集手順

- 1 バーチャルホストリストより、編集したいバーチャルホストの「編集」をクリックします。
- 2 バーチャルホスト情報入力画面がポップアップしますので、入力項目を入力してください。

a ドメイン名*

ドメイン名です。編集不可項目です。

b ホスト説明

バーチャルホストの説明文を入力することができます。

c IP アドレス*

ドメイン名と紐付ける IP アドレスを選択します。

d ドキュメントルート*

Web コンテンツの設置フォルダを入力します。

e アクセスログ*

バーチャルドメインのアクセスログの設置場所およびファイル名を入力します。



アクセスログは、web サーバの ServerRoot の設定値（デフォルトは /etc/httpd/）からの相対パスとなります。

f ログフォーマット

アクセスログの記録形式を選択します。

combined	“common”、“referer”、“agent”を組み合わせた情報が記録される。
common	アクセス時間と閲覧ページが記録される。
referer	アクセス元のサイト情報が記録される。
agent	アクセスに用いられたブラウザ種別が記録される。



ログをアクセス解析ソフトで解析する場合は最も情報量が多い **combined** を設定してください。

g エラーログ*

基本ドメインのエラーログの設置場所およびファイル名を入力します。



アクセスログは、web サーバの ServerRoot の設定値（デフォルトは /etc/httpd/）からの相対パスとなります。

h CGI 利用

バーチャルドメインで CGI が使用可能にするか選択します。

i SSI 利用

バーチャルドメインで SSI が使用可能にするか選択します。

j 決定

クリックすると、設定変更を実行します。

k キャンセル

設定変更をキャンセルし、この画面を閉じます。



*マークの入力項目は入力必須項目です。



各入力項目の入力仕様は 72 ページの「Adminaid 入力仕様一覧」を参照してください。

3 決定ボタンをクリックしてください。

4 Web サーバのサービス起動もしくは再起動を実施してください。



Web サーバのサービス再起動手順は 43 ページの「サービス管理」を参照してください。

バーチャルホストの削除手順

1 バーチャルホストリストより、削除したいバーチャルホストの「削除」をクリックします。

2 バーチャルホスト削除画面がポップアップしますので、対象バーチャルホストであることを確認してください。

a キャンセル

バーチャルホスト削除をキャンセルし、この画面を閉じます。

b 削除

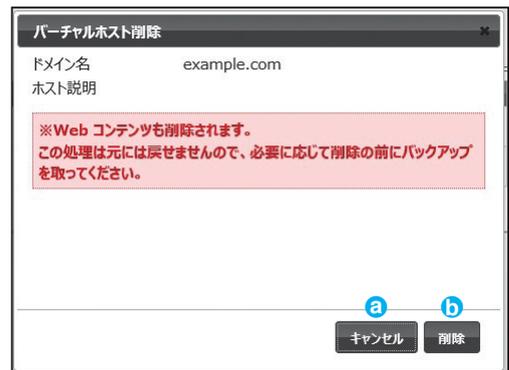
クリックすると、バーチャルホストを削除します。

3 削除ボタンをクリックしてください。

4 Web サーバのサービス起動もしくは再起動を実施してください。



Web サーバのサービス再起動手順は 43 ページの「サービス管理」を参照してください。



アクセス解析設定

Web サーバが有効なドメインへのアクセス状況をアクセス解析し、グラフ表示します。



1 ドメイン

Web サーバが有効なドメインを表示します。

2 状態

アクセス解析の状態を表示します。有効であればアクセス解析が有効となり、ドメイン名をクリックするとアクセス解析結果を確認することができます。

3 編集

対象ドメインのアクセス解析設定を変更します。



アクセス解析設定の変更手順は 27 ページの「アクセス解析設定変更手順」を参照してください。

アクセス解析設定変更手順

1 アクセス解析設定のリストより、対象ドメインの「編集」をクリックします。

2 設定変更画面がポップアップしますので、設定をおこないます。

a 利用状況

有効	アクセス解析を有効にします。
無効	アクセス解析を無効にします。

b 決定

クリックすると、設定変更を実行します。

c キャンセル

設定変更をキャンセルし、この画面を閉じます。



3 決定ボタンをクリックしてください。

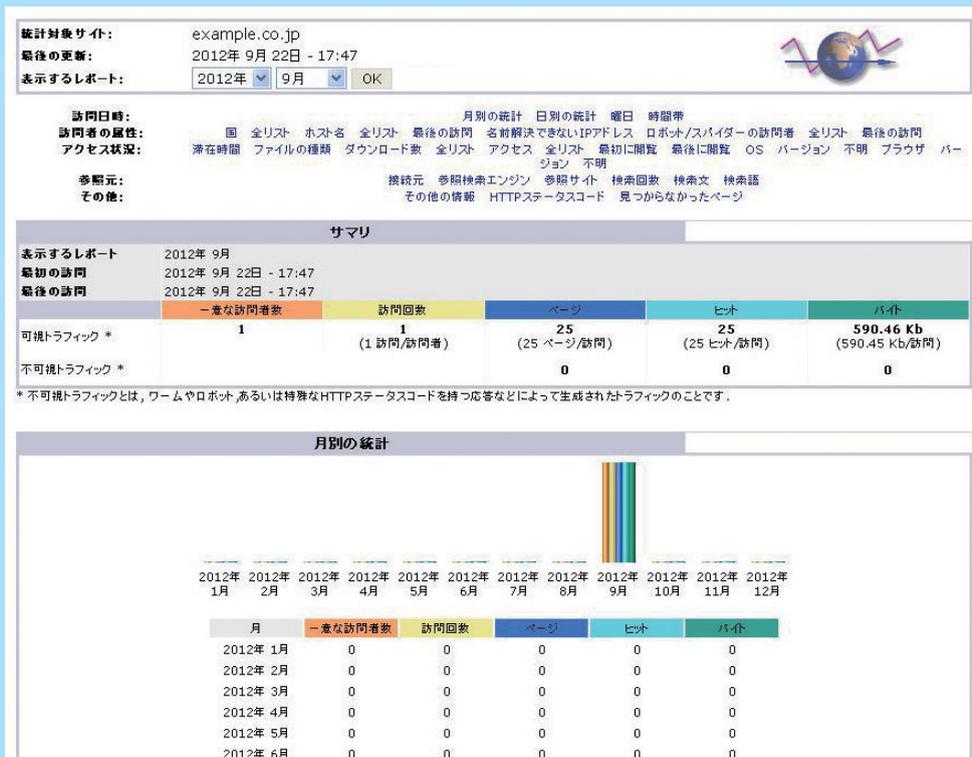
4 アクセス解析設定のリストを確認し設定変更されていることを確認してください。

利用状況を有効にし、アクセス解析を有効にした場合、ドメイン名をクリックするとアクセス解析結果を確認することができます。なお、アクセス解析は、有効にしたタイミングで一度解析を実施します。その後は毎日夜間（1:00～4:00）に定期的に解析を実施いたします。

アクセス解析結果表示手順

1 アクセス解析が有効なドメインのドメイン名をクリックします。

2 アクセス解析結果が表示されます。



5. DNS サーバ

DNS サーバのドメイン・レコード設定をおこなう場合に使用します。



1 ドメイン

登録されているドメインのリストです。

2 ドメイン追加

ドメインを新規追加します。



ドメインの新規追加手順は 30 ページの「ドメインの新規追加手順」を参照してください。

3 編集

対象ドメインを編集します。



ドメインの編集手順は 32 ページの「ドメインの zone 情報編集手順」を参照してください。

4 削除

対象ドメインを削除します。



ドメインの削除手順は 34 ページの「ドメインの削除手順」を参照してください。

ドメインの新規追加手順

1 ドメインリスト画面より、「ドメイン追加」をクリックします。

2 ドメイン追加画面がポップアップしますので、入力項目を入力してください。

a **ドメイン名***

ドメイン名を入力します。

b **IP アドレス***

ドメイン名と紐付ける IP アドレスを選択します。デフォルト値は、対象サーバの eth0 の IP アドレスとなります。

c **ドメイン説明**

ドメインの説明文を入力することができます。

d **決定**

クリックすると、ドメインの新規追加を実行します。

e **キャンセル**

ドメイン追加をキャンセルし、この画面を閉じます。

The screenshot shows a dialog box titled "ドメイン追加" (Add Domain). It has three input fields: "ドメイン名*" (Domain Name) with a red asterisk and a blue 'a' marker, "IP アドレス*" (IP Address) with a red asterisk, a blue 'b' marker, and a dropdown menu showing "192.168.0.100", and "ドメイン説明" (Domain Description) with a blue 'c' marker. At the bottom right, there are two buttons: "決定" (Decision) with a blue 'd' marker and "キャンセル" (Cancel) with a blue 'e' marker.



* マークの入力項目は入力必須項目です。



各入力項目の入力仕様は 72 ページの「Adminaid 入力仕様一覧」を参照してください。

3 決定ボタンをクリックしてください。

4 追加したドメインがドメインリストに表示されていることを確認してください。

ドメイン追加時はレコード情報はテンプレートに基づいて作成されますので対象ドメインの編集を実行し、各種レコード情報を確認してください。レコード情報に変更が必要であれば、ドメインの編集手順に従ってレコード情報を変更してください。



ドメインの編集手順は 32 ページの「ドメインの zone 情報編集手順」を参照してください。

5 追加したドメインを DNS サービスに反映させるため DNS サーバの再起動してください。



DNS サーバのサービス再起動手順は 43 ページの「サービス管理」を参照してください。

6 追加したドメインが正常に名前解決できることを確認してください。



レコードの設定内容によっては、ドメインの追加内容が他 DNS サーバに浸透するのに時間がかかる場合があります。

リソースレコード情報のテンプレート情報

ドメインの新規作成時に、リソースレコード情報は下記テンプレート情報によって自動生成します。

	IN	MX	10	sv. 【ドメイン名】
	IN	NS		sv. 【ドメイン名】
【ドメイン名】	IN	A		【IP アドレス】
sv	IN	A		【IP アドレス】
	IN	MX	10	sv. 【ドメイン名】
www	IN	A		【IP アドレス】
ns	IN	CNAME		sv
ns1	IN	CNAME		sv
ftp	IN	CNAME		sv
mail	IN	CNAME		sv

(例)

ドメイン名	example.co.jp
IP アドレス	192.168.1.100

を入力してドメインを新規作成した場合

	IN	MX	10	sv.example.co.jp.
	IN	NS		sv.example.co.jp.
example.co.jp.	IN	A		192.168.1.100
sv	IN	A		192.168.1.100
	IN	MX	10	sv.example.co.jp.
www	IN	A		192.168.1.100
ns	IN	CNAME		sv
ns1	IN	CNAME		sv
ftp	IN	CNAME		sv
mail	IN	CNAME		sv

- 1 ドメインリストより、編集したいドメインの「編集」をクリックします。
- 2 ドメイン編集画面がポップアップしますので、入力項目を入力してください。

ドメイン情報

- a** **ドメイン名**
ドメイン名です。編集不可項目です。
- b** **ドメイン説明**
ドメインの説明文を入力することができます。

SOA レコード情報

- c** **TTL ***
ネームサーバがデータをキャッシュしておく時間です。
デフォルト値は 86400 秒 = 1 日です。
- d** **ホスト ***
ゾーンデータを参照するサーバです。
編集不可項目です。
- e** **Admin ***
ネームサーバの管理者宛メールアドレスです。編集不可項目です。
- f** **Serial**
レコード情報のシリアル番号です。編集時に自動的に更新するため、編集不可項目です。
- g** **Refresh ***
セカンダリサーバがプライマリサーバのシリアル値をチェックする間隔です。
デフォルト値は 10800 秒 = 3 時間です。
- h** **Retry ***
セカンダリサーバがプライマリサーバ参照に失敗した場合の再試行間隔です。
デフォルト値は 900 秒 = 30 分です。
- i** **Expire ***
セカンダリサーバがプライマリサーバ参照に失敗した場合、データを廃棄するまでの時間です。
デフォルト値は 604800 秒 = 7 日です。
- l** **Minimum ***
DNS のキャッシュに蓄積された情報の保持時間です。
デフォルト値は 900 秒 = 30 分です。

ドメイン編集

ドメイン情報

ドメイン名 **a** example.co.jp

ドメイン説明 **b** サンプルドメイン

SOA レコード情報

TTL* **c** 86400

ホスト* **d** sv.example.co.jp

Admin* **e** postmaster

Serial **f** 2012040201 ※ Serial は更新時に自動採番されます

Refresh* **g** 10800

Retry* **h** 900

Expire* **i** 604800

Minimum* **l** 900

リソースレコード情報 ※以下の編集はできません

	IN	MX	10 sv.example.co.jp.
	IN	NS	sv.example.co.jp.
example.co.jp.	IN	A	192.168.1.100
sv	IN	A	192.168.1.100
	IN	MX	10 sv.example.co.jp.
www	IN	A	192.168.1.100
ns	IN	CNAME	sv
ns1	IN	CNAME	sv

k 決定 **l** キャンセル



SOA レコードの内容については、特に編集の必要がない場合、デフォルト値のままにしてください。

リソースレコード情報

レコード情報を変更する場合、直接レコード情報の編集を行ってください。

	IN	MX	10	sv.example.co.jp.
	IN	NS		sv.example.co.jp.
	IN	NS		【セカンダリ DNS 情報】
example.co.jp.	IN	A		192.168.1.100
sv	IN	A		192.168.1.100
	IN	MX	10	sv.example.co.jp.
www	IN	A		192.168.1.100
ns	IN	CNAME		sv
ns1	IN	CNAME		sv
ftp	IN	CNAME		sv
mail	IN	CNAME		sv

上記は NS レコード (セカンダリネームサーバ) を追加した例となります。ネームサーバは必要に応じてプライマリ/セカンダリを登録してください。当サービスのセカンダリネームサーバを利用する場合、利用できるサーバは以下の通りとなります。

富山 DC で JP ドメインの場合	p75.atw.ne.jp (202.221.143.7)
JP 以外ドメイン	ns2.atworks.co.jp (202.221.143.11)
有明・堂島 DC で JP ドメインの場合	ns.at-link.ad.jp (210.239.46.2)

k 決定

クリックすると、ドメインを編集します。

i キャンセル

ドメイン編集をキャンセルし、この画面を閉じます。



*マークの入力項目は入力必須項目です。



各入力項目の入力仕様は 72 ページの「Adminaid 入力仕様一覧」を参照してください。

3 決定ボタンをクリックしてください。**4** 編集したドメインを DNS サービスに反映させるため DNS サーバの再起動してください。

DNS サーバのサービス再起動手順は 43 ページの「サービス管理」を参照してください。

5 編集したドメインが正常に反映されていることを確認してください。

レコードの設定内容によっては、ドメインの追加内容が他 DNS サーバに浸透するのに時間がかかる場合があります。

ドメインの削除手順

- 1 ドメインリストより、削除したいユーザの「削除」をクリックします。
- 2 ドメイン削除画面がポップアップしますので、対象ドメインであることを確認してください。

a キャンセル

ドメイン削除をキャンセルし、この画面を閉じます。

b 削除

クリックすると、ドメインを削除します。



- 3 削除ボタンをクリックしてください。
- 4 削除したドメインを DNS サービスに反映させるため DNS サーバの再起動してください。



DNS サーバのサービス再起動手順は 34 ページの「サービス再起動」を参照してください。

6. メールサーバ

メールサーバのドメイン設定をおこなう場合に使用します。

! メールサーバ機能は有料モジュールのため、メールサーバ機能を使用するには対応したライセンスを購入する必要があります。

■ メールサーバが無効な状態

メールサーバを有効にするための有効にするためのライセンス適用については以下の URL より、ライセンスの申し込みをしてください。Eメールでライセンスファイルを送付致します。



URL : <https://www.atworks.co.jp/store/Send/>

 ライセンス更新手順は 66 ページの「ライセンス更新手順」を参照してください。



1 ドメイン

登録されているドメインのリストです。

2 ドメイン追加

ドメインを新規追加します。

 ドメインの新規追加手順は 36 ページの「ドメインの新規追加手順」を参照してください。

3 編集

対象ドメインを編集します。

 ドメインの編集手順は 37 ページの「ドメインの編集手順」を参照してください。

4 削除

対象ドメインを削除します。

 ドメインの削除手順は 38 ページの「ドメインの削除手順」を参照してください。

ドメインの新規追加手順

1 ドメインリスト画面より、「ドメイン追加」をクリックします。

2 ドメイン追加画面がポップアップしますので、入力項目を入力してください。

a **ドメイン名***

ドメイン名を入力します。

b **ドメイン説明**

ドメインの説明文を入力することができます。

c **決定**

クリックすると、ドメインの新規追加を実行します。

d **キャンセル**

ドメイン追加をキャンセルし、この画面を閉じます。



*マークの入力項目は入力必須項目です。



各入力項目の入力仕様は 72 ページの「Adminaid 入力仕様一覧」を参照してください。

3 決定ボタンをクリックしてください。

4 追加したドメインがドメインリストに表示されていることを確認してください。

5 追加したドメインを反映させるためメールサーバの再起動してください。



メールサーバのサービス再起動手順は 43 ページの「サービス管理」を参照してください。

ドメインの編集手順

- 1 ドメインリストより、編集したいドメインの「編集」をクリックします。
- 2 ドメイン設定画面がポップアップしますので、入力項目を入力してください。

a ドメイン名

ドメイン名です。編集不可項目です。

b ドメイン説明

ドメインの説明文を入力することができます。

c 決定

クリックすると、ドメインを編集します。

d キャンセル

ドメイン編集をキャンセルし、この画面を閉じます。

ドメイン設定

ドメイン名 *	<input type="text" value="example.co.jp"/>
ドメイン説明	<input type="text"/>

決定 キャンセル

 各入力項目の入力仕様は 72 ページの「Adminaid 入力仕様一覧」を参照してください。

- 3 決定ボタンをクリックしてください。
- 4 編集したドメインを反映させるためメールサーバの再起動してください。

 メールサーバのサービス再起動手順は 43 ページの「サービス管理」を参照してください。

ドメインの削除手順

- 1 ドメインリストより、削除したいドメインの「削除」をクリックします。
- 2 ドメイン削除画面がポップアップしますので、対象ドメインであることを確認してください。

a キャンセル

ドメイン削除をキャンセルし、この画面を閉じます。

b 削除

クリックすると、ドメインを削除します。



- 3 削除ボタンをクリックしてください。

- 4 削除したドメインを反映させるためメールサーバの再起動してください。



メールサーバのサービス再起動手順は 43 ページの「サービス管理」を参照してください。

7. システム状態

対象サーバの各種状態を確認することができます。

メモリ容量

対象サーバのメモリ使用状況を表示します。

The screenshot shows the 'システム状態' (System Status) page with a 'メモリ容量' (Memory Capacity) tab selected. The table below is a reproduction of the data shown in the screenshot.

	合計	使用中	空き	共有	バッファ
Mem	① 2,054,924	② 963,600	③ 1,091,324	④ 0	⑤ 202,640
-/+ buffers/cache		⑥ 406,668	⑦ 1,648,256		
Swap	⑧ 987,988	⑨ 0	⑩ 987,988		

Mem	① 合計	対象サーバに搭載している実メモリ量です。
	② 使用中	サーバが使用中のメモリ量です。
	③ 空き	空きメモリ量です。
	④ 共有	サーバが共有メモリとして使用中のメモリ量です。
	⑤ バッファ	サーバがバッファとして使用中のメモリ量です。
-/+ buffers/cache	⑥ 使用中	サーバが使用中のメモリ量から共有メモリとバッファを差し引いたメモリ量となります。
	⑦ 空き	サーバの空きメモリ量と共有メモリとバッファを合算したメモリ量となります。
Swap	⑧ 合計	Swap メモリの合計です。
	⑨ 使用中	使用中の Swap メモリ量です。
	⑩ 空き	空き Swap メモリ量です。

ディスク容量

対象サーバのディスク使用状況を表示します。

ファイルシステム	合計	使用量	使用可	使用率(%)	i-node 使用率(%)	マウント位置
tmpfs	499M	0	499M	0%	1%	/dev/shm
/dev/vda2	26G	3.3G	22G	14%	15%	/
/dev/vda1	950M	177M	726M	20%	1%	/boot

1 ファイルシステム

ファイルシステムを提供しているデバイス名

2 合計

ファイルシステムの全容量

3 使用量

使用中の容量

4 使用可

使用可能な容量

5 使用率 (%)

使用中の容量率



ファイルシステムの使用率が高くなり、100%の状態になった場合、書き込みができなくなるなどサーバに悪影響を及ぼしますので高くないよう不要なファイルを削除するようにしてください。

6 i-node 使用率 (%)

i-node の使用率



i-node はファイルやディレクトリを作成する際に使用します。例えば、小さなファイルを大量に作成し、i-node が 100% になった場合、空き容量があったとしても新たにファイルを作成することができなくなります。

7 マウント位置

ファイルシステムがマウントしている位置

負荷状況

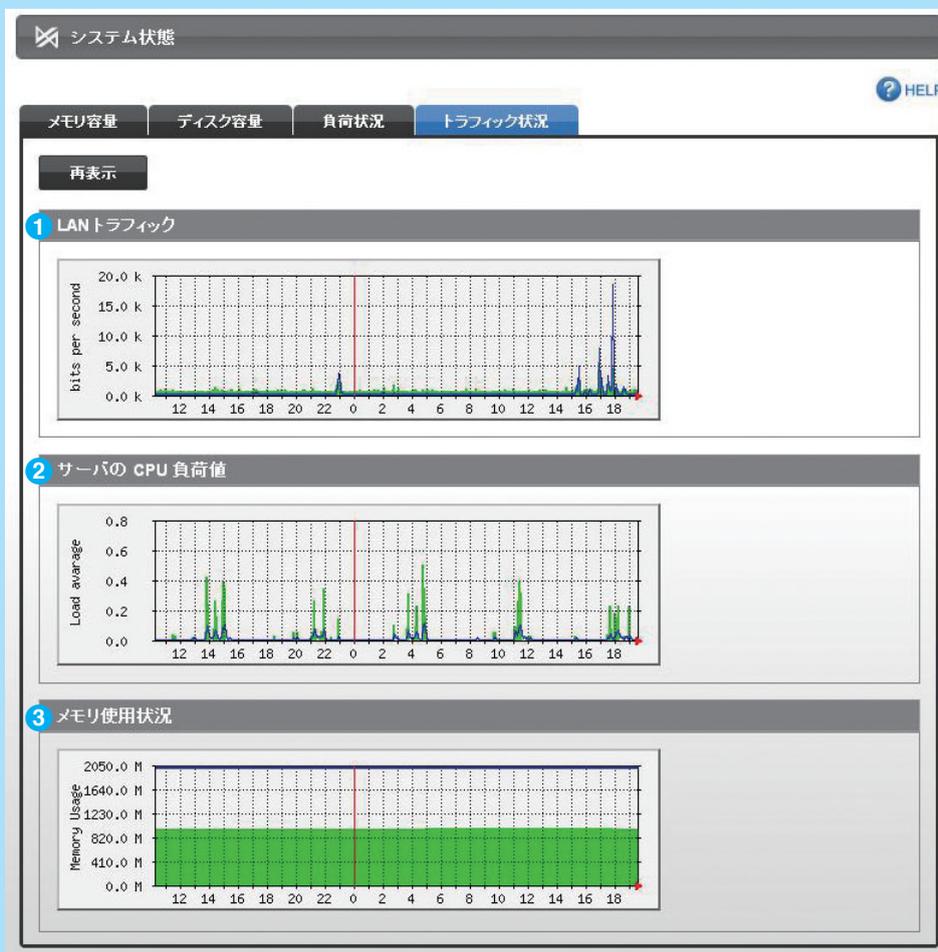
対象サーバの負荷状況を表示します。



- 1 稼働時間 対象サーバの稼働時間
- 2 過去 1 分間 過去 1 分間の対象サーバのロードアベレージ
- 3 過去 5 分間 過去 5 分間の対象サーバのロードアベレージ
- 4 過去 15 分間 過去 15 分間の対象サーバのロードアベレージ

トラフィック状況

対象サーバの直近1日のトラフィック状況、CPU 負荷、メモリ使用状況を表示します。



① LAN トラフィック	緑色の線	eth0 の送信トラフィック量
	青色の線	eth0 の受信トラフィック量
② サーバの CPU 負荷値	緑色の線	過去 1 分間の対象サーバのロードアベレージ
	青色の線	過去 5 分間の対象サーバのロードアベレージ
③ メモリ使用状況	緑色の線	対象サーバの使用済みメモリ量 (共有メモリ、バッファ含)
	青色の線	対象サーバの全メモリ量

8. システム管理

サービス管理

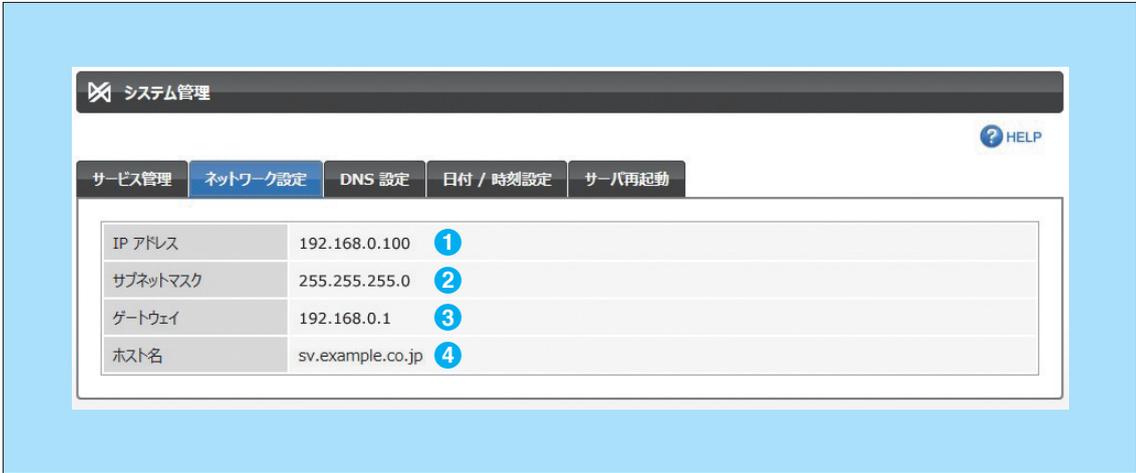
主要サービス（Web サーバ、DNS サーバ、メールサーバ）の稼働状況の確認および起動・停止・再起動を行うことができます。



サービス	1 Web サーバ	RPM 版 apache サービスを表します。
	2 受信メールサーバ	RPM 版 dovecot サービスを表します。
	3 DNS サーバ	RPM 版 named サービスを表します。
	4 送信メールサーバ	RPM 版 postfix サービスを表します。
5 状態	稼働中	対象サービスが稼働している状態です。
	停止中	対象サービスが停止している状態です。
6 起動	対象サービスを起動します。 対象サービスが停止している場合に操作できます。	
7 停止	対象サービスを停止します。 対象サービスが稼働している場合に操作できます。	
8 再起動	対象サービスを再起動します。 対象サービスが稼働している場合に操作できます。	

ネットワーク確認

対象サーバのネットワーク情報を表示します。



設定項目

- | | |
|------------|--------------------------------|
| ① IP アドレス | 対象サーバの eth0 に割り当てられている IP アドレス |
| ② サブネットマスク | 対象サーバの eth0 に割り当てられているサブネットマスク |
| ③ ゲートウェイ | 対象サーバのデフォルトゲートウェイアドレス |
| ④ ホスト名 | 対象サーバのホスト名 |

DNS 設定

対象サーバの使用する DNS の設定をおこないます。



- ① **ネームサーバ 1** ネームサーバ 1 の IP アドレス
- ② **ネームサーバ 2** ネームサーバ 2 の IP アドレス
- ③ **ネームサーバ 3** ネームサーバ 3 の IP アドレス
- ④ **設定変更** 対象サーバの使用する DNS の設定を変更します。

DNS 設定の変更手順

1 DNS 設定のリスト画面より、「設定変更」をクリックします。

2 DNS 設定変更画面がポップアップしますので、入力項目を入力してください。

- a ネームサーバ 1**
ネームサーバ 1 の IP アドレスを入力します。
- b ネームサーバ 2**
ネームサーバ 2 の IP アドレスを入力します。
- c ネームサーバ 3**
ネームサーバ 3 の IP アドレスを入力します。
- d 決定**
クリックすると、DNS 設定を変更します。
- e キャンセル**
DNS 設定変更をキャンセルし、この画面を閉じます。

DNS 設定変更	
ネームサーバ1	127.0.0.1
ネームサーバ2	8.8.8.8
ネームサーバ3	8.8.4.4

決定 キャンセル

3 決定ボタンをクリックしてください。

4 変更した DNS 設定を反映させるためサーバの再起動をしてください。



サーバの再起動手順は 48 ページの「サーバ再起動」を参照してください。

日付 / 時刻確認

対象サーバの時刻設定をおこないます。

2

機能説明



時刻設定タイプ

- 1 自動 (NTP) NTP サービスを利用して時刻自動同期を行います。
- 2 手動 手動で日時・時刻を設定します。

自動 (NTP) 利用手順

1 時刻設定タイプを『自動 (NTP)』を選択します。

2 時刻同期を行う NTP サーバを入力します。

 at+link 専用サーバサービスで提供している Adminaid ではデフォルト NTP サーバは 210.239.46.2 が設定されます。



3 NTP サービスとの時刻同期の更新間隔を設定します。

(例) 毎日 5 時に時刻同期をおこないたい場合、以下のように設定します。

分	時	日	月	曜日
0	5	毎日	毎月	毎日

4 「更新」 ボタンをクリックしてください。

手動利用手順

- 1 時刻設定タイプを『手動』を選択します。
- 2 現在の日付と時刻を入力します。
- 3 「更新」ボタンをクリックしてください。



サーバ再起動



サーバ再起動手順

- 「サーバ再起動」をクリックしてください。

! 現在ログインしている全てのユーザが強制的にログアウトされます。
また、全てのサービスが再起動となりますのでご注意ください。

9. システムログ

各種システムログを表示します。



1 対象ログファイル

システムログフォルダ (/var/log) のファイルをリスト表示します。
表示したいログファイルを選択してください。

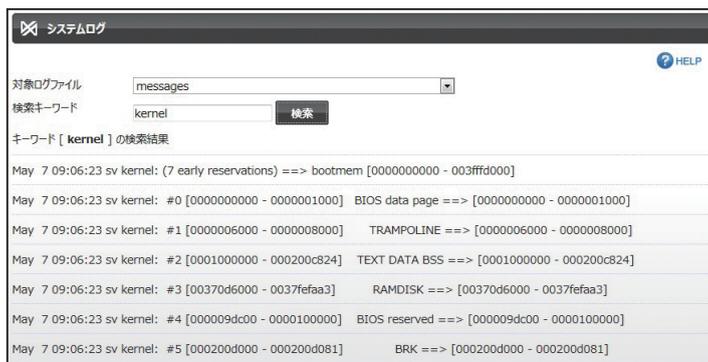
2 検索キーワード

特定の文字列を含むログだけを出力したい場合、入力してください。

3 検索

ログファイルを表示します。

! 出力結果が 1000 行を超える場合は、末尾の 1000 行のみ表示されます。
バイナリファイルを表示すると文字化けすることがあります。



キーワードを指定した場合は表示例

10. プロセス管理

プロセスの表示およびシグナル送信を行うことができます。

PID	プロセス	ユーザ	通常終了	強制終了	HUP	
1	/sbin/init	root	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	実行
2	[kthreadd]	root	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	実行
3	[migration/0]	root	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	実行
4	[ksoftirqd/0]	root	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	実行
5	[migration/0]	root	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	実行
6	[watchdog/0]	root	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	実行
7	[events/0]	root	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	実行
8	[cpuset]	root	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	実行

1 PID

プロセス ID

2 プロセス

プロセスのコマンド名

3 ユーザ

プロセスを実行したユーザ名

4 通常終了

対象プロセスに TERM シグナルを送信する時に使用します。

一般的に TERM シグナルを受信したプロセスは安全に終了します。

5 強制終了

対象プロセスに KILL シグナルを送信する時に使用します。

一般的に KILL シグナルを受信したプロセスは強制的に終了します。Kill を実行しても終了できないプロセスに対して使用します。

6 HUP

対象プロセスに HUP シグナルを送信する時に使用します。

一般的に HUP シグナルを受信したプロセスは設定のリロードを行います。

7 実行

各種シグナルを送信する場合に実行します。

プロセス終了手順

1 終了させたいプロセスを選択します。

2 送信したいシグナルを【通常終了】【強制終了】【HUP】から選択し、クリックしてください。

3 「実行」をクリックします。



プロセスの終了は、"root 権限" で実施します。
プロセスを終了させた場合、プロセスのデータが破損する可能性があります。

プロセス管理						
PID	プロセス	ユーザ	通常終了	強制終了	HUP	
1	/sbin/init	root	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	実行
2	[kthreadd]	root	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	実行
3	[migration/0]	root	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	実行

Kill シグナル選択例

プロセス管理						
PID	プロセス	ユーザ	通常終了	強制終了	HUP	
1	/sbin/init	root	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	実行
2	[kthreadd]	root	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	実行
3	[migration/0]	root	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	実行

ForceKill シグナル選択例

プロセス管理						
PID	プロセス	ユーザ	通常終了	強制終了	HUP	
1	/sbin/init	root	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	実行
2	[kthreadd]	root	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	実行
3	[migration/0]	root	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	実行

HUP シグナル選択例

11. アクセス環境

アクセス環境

対象サーバの SSH、FTP、Telnet へのアクセス環境を設定します。

アクセス環境	SSH	FTP	Telnet		
example.co.jp ①	② 有効	③ 有効	④ 無効	⑤ 編集	⑥ 削除
192.168.1.0/255.255.255.0	有効	有効	有効	編集	削除
192.168.1.1	有効	有効	無効	編集	削除

① アクセス環境

アクセスを許可する環境の情報を入力します。

② SSH

チェックした場合、「アクセス環境」に設定した環境からの SSH 接続を許可します。

③ FTP

チェックした場合、「アクセス環境」に設定した環境からの FTP 接続を許可します。

④ Telnet

チェックした場合、「アクセス環境」に設定した環境からの Telnet 接続を許可します。

⑤ 編集

アクセス環境の **【SSH】【FTP】【Telnet】** の設定を変更します。

⑥ 削除

対象のアクセス環境設定を削除します。



アクセス環境が設定されていない場合、at+link 環境からのみアクセス可能な設定となります。



Telnet サービスはデフォルト状態では無効になっています。Telnet サービスを有効にするには別途設定が必要です。

アクセス環境追加手順

1 「アクセス環境追加」をクリックします。



2 アクセス環境を入力します。アクセス環境は以下の入力方式から入力してください。

IP アドレス形式	(例)	192.168.0.100
ネットワークアドレス形式	(例)	192.168.1.0/255.255.255.0 192.168.1.0/24
ドメイン形式	(例)	example.co.jp .example.co.jp .test.example.co.jp

! 上記以外の入力方式では設定が行えません。



3 入力したアクセス環境からアクセスを許可するサービス [SSH] [FTP] [Telnet] をチェックしてください。

4 「決定」をクリックします。

アクセス環境変更手順

1 アクセス環境リストより、編集したいアクセス環境の「編集」をクリックします。

2 アクセス環境編集画面がポップアップしますので、入力項目を入力してください。

3 決定ボタンをクリックしてください。

4 編集したアクセス環境はアクセス環境リストにて確認することができます。



! アクセス環境の変更はできません。

アクセス環境削除手順

1 アクセス環境リストから削除したい環境の「削除」をクリックします。

2 アクセス環境削除画面がポップアップします。

3 削除ボタンをクリックしてください。

4 アクセス環境リストより、対象アクセス環境が削除されていることを確認することができます。



12.スケジューリング

サーバにて特定の処理をスケジューリングします。

スケジュール管理

スケジュール追加

ユーザ	コマンド	分	時	日	月	曜日	有効		
root	/opt/adminaid/stattool/aws/cgi-bin/awstats.example.co.jp.cron	19	1	*	*	*	<input checked="" type="checkbox"/>	変更	削除
root	/root/batch	*	5	*	*	*	<input checked="" type="checkbox"/>	変更	削除

1 ユーザ

「コマンド」を実行するときのユーザ名です

2 コマンド

スケジュールにて実行するコマンドです。

3 分、時、日、月、曜日

コマンドを実行するスケジュールです。

4 変更

対象のスケジュールの有効／無効を変更します。

5 削除

対象のスケジュールを削除します。

スケジュール追加手順

1 「スケジュール追加」をクリックします。



2 ユーザにコマンドを実行するユーザ名を入力します。

! 存在するユーザのみ入力可能です。
存在するユーザを入力しようとした場合、入力が補完されます。

3 実行するコマンドを入力します。

4 コマンドを実行するスケジュールを設定します。

分	毎分、もしくは0 - 59 から選択します。
時	毎時、もしくは0 - 23 から選択します。
日	毎日、もしくは1 - 31 から選択します。
月	毎月、もしくは1 - 12 から選択します。
曜日	毎日、もしくは日 - 土から選択します。



(例 1) 毎日 5 時に実行したい場合、以下のように設定します。

分	時	日	月	曜日
0	5	毎日	毎月	毎日

(例 2) 毎週水曜日の 6:30 に実行したい場合、以下のように設定します。

分	時	日	月	曜日
30	6	毎日	毎月	水

(例 3) 毎月 1 日の 0 時に実行したい場合、以下のように設定します。

分	時	日	月	曜日
0	0	1	毎月	毎日

5 このコマンドの有効／無効を設定します。

有効	対象コマンドをスケジュールに従い実行します。
無効	対象コマンドをスケジュールに従い実行しません。

6 決定をクリックします。

! スケジュールにて実行するコマンドの内容、もしくは実行頻度によってはサーバに負荷がかかる場合があります。サーバの負荷状況を確認しながらスケジュール間隔を調整してください。

スケジュール変更手順

- 1 スケジュールリストから対象スケジュールの有効／無効を切り替えます。
- 2 変更をクリックします。

スケジュール削除手順

- スケジュールリストから削除したいスケジュールの「削除」をクリックします。

13. ドメイン管理

システムのドメイン設定、バーチャルドメイン設定をおこなう場合に使用します。

2

機能説明

システムドメイン管理

システムのドメイン情報を表示します。



1 システムドメイン

システムドメインを表示します。

2 FQDN

FQDN を表示します。

3 設定変更

システムドメインの設定を変更します。

システムドメイン設定変更手順

1 システムドメイン表示画面より、「設定変更」をクリックします。

2 システムドメイン設定画面がポップアップしますので、入力項目を入力してください。

a システムドメイン*

システムドメインを入力します。

b FQDN*

FQDNを入力します。

c 決定

クリックすると、システムドメイン情報を変更します。

d キャンセル

システムドメイン変更をキャンセルし、この画面を閉じます。



*マークの入力項目は入力必須項目です。



各入力項目の入力仕様は 72 ページの「Adminaid 入力仕様一覧」を参照してください。

3 決定ボタンをクリックしてください。

4 サーバの再起動を実施してください。



サーバの再起動手順は 48 ページの「サーバ再起動」を参照してください。

バーチャルドメイン管理

! バーチャルドメイン機能は有料モジュールのため、バーチャルドメイン機能を使用するには対応したライセンスを購入する必要があります。

■ バーチャルドメインが無効な状態

バーチャルドメインを有効にするためのライセンス適用については以下の URL より、ライセンスの申し込みをしてください。

Eメールでライセンスファイルを送付致します。

URL : <https://www.atworks.co.jp/store/Send/>



👉 ライセンス更新手順は 66 ページの「ライセンス更新手順」を参照してください。



① バーチャルドメイン追加

バーチャルドメインを新規追加します。

② ドメイン

追加したバーチャルドメインのドメイン名です。

③ 編集

対象のバーチャルドメインの設定を変更します。

④ 削除

対象のバーチャルドメインを削除します。

1 「バーチャルドメイン追加」をクリックします。

2 バーチャルドメインの各種設定を入力します。

a ドメイン名

新規追加するバーチャルドメイン名を入力します。

ドメイン名を登録することで、FTP ユーザ名、FTP グループ名、ドキュメントルート、アクセスログ、エラーログがドメイン名にあわせてデフォルト値を設定します。

b ドメイン説明

バーチャルドメインについての説明文を記載することができます。

c IP アドレス

バーチャルドメインコンテンツに対応する IP アドレスを選択します。

デフォルト値は対象サーバの eth0 に該当する IP アドレスとなります。

d FTP ユーザ名

作成するドメインの web コンテンツにアクセスする FTP ユーザ名を設定します。ドメイン名を登録すると、ftp. 【ドメイン名】 という値がデフォルト値となります。

e FTP グループ名

作成するドメインの web コンテンツの FTP グループ名を設定します。
ドメイン名を登録すると、【ドメイン名】という値がデフォルト値となります。

f FTP パスワード

FTP ユーザ名のパスワードを入力します。

g 再入力

FTP パスワードにて入力した文字列を再度入力します。

h Adminaid ID

対象のバーチャルドメインだけを管理できるサイト管理者権限で Adminaid にログインする際の ID を入力します。なお、ID の形式は、【Adminaid ID】@【ドメイン名】 となります。

i Adminaid パスワード

Adminaid ID のパスワードを入力します。

j 再入力

Adminaid パスワードにて入力した文字列を再度入力します。

k Web

作成するバーチャルドメインにて web 機能を使用するかどうかを選択します。
デフォルトは有効です。Web を利用しない場合は無効を設定してください。

l ドキュメントルート

Web コンテンツの配置場所となります。ドメイン名を登録すると、/home/【ドメイン名】/public_html という値がデフォルト値となります。

m アクセスログ

Web コンテンツへのアクセスログの配置場所とログ形式を設定します。ドメイン名を登録すると、/var/log/httpd/【ドメイン名】-access_log という値がデフォルト値となります。
ログ形式は combined がデフォルトとなります。
ログをアクセス解析に利用する場合は combined 形式にしてください。

n エラーログ

Web コンテンツへのエラーログの配置場所とログ形式を設定します。ドメイン名を登録すると、/var/log/httpd/【ドメイン名】-error_log という値がデフォルト値となります。

o CGI 利用

web コンテンツにて CGI を利用するかどうかを選択します。デフォルトは有効です。

p SSI 利用

web コンテンツにて SSI を利用するかどうかを選択します。デフォルトは有効です。

q メール

対象バーチャルドメインにてメールを利用するかどうかを選択します。デフォルトは有効です。
メールを利用しない場合は無効を設定してください。

r DNS

対象バーチャルドメインの DNS 設定を本サーバにて設定するかどうかを選択します。デフォルトは有効です。別途 DNS サーバで管理する場合は、無効を選択してください。

3「決定」をクリックし、新規追加を行います。

バーチャルドメイン情報入力

ドメイン名 * example.net

ドメイン説明 a サンプルドメインです

IP アドレス 192.168.0.100

FTP ユーザ名 * b ftp.example.net

FTP グループ名 * c example.net

FTP パスワード * d

※↑変更する場合のみ入力してください。

再入力 *

Adminaid ID * e admin @example.net

Adminaid パスワード f

※↑変更する場合のみ入力してください。

再入力 *

Web 有効

メール 有効

DNS 有効

決定 キャンセル

1 バーチャルドメインのリストから対象バーチャルドメインの編集をクリックします。

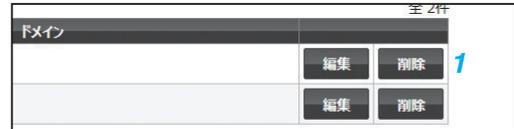
2 バーチャルドメインの各種設定を編集します。編集可能な項目は以下のとおりです。

a ドメイン説明	b FTP ユーザ名	c FTP グループ名
d FTP パスワード	e Adminaid ID	f Adminaid パスワード

3 決定をクリックし、編集を行います。

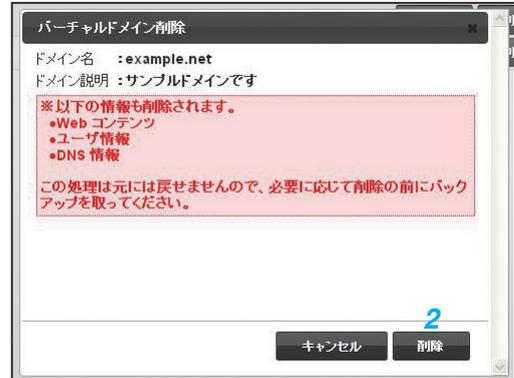
バーチャルドメイン削除手順

1 バーチャルドメインのリストから対象バーチャルドメインの削除をクリックします。



2 対象ドメインであることを再度確認後、削除をクリックします。

! バーチャルドメイン削除を実施すると、【Web コンテンツ】【ユーザ情報 (メール情報)】【DNS 情報】を全て削除します。この処理は元には戻せませんので、必要に応じて削除の前にバックアップを取ってください。



14.Adminaid 管理

ライセンス管理

Adminaid のご利用ライセンスを更新します。

Adminaid 管理

ライセンス管理 | アクセス管理 | パスワード変更 | バージョン情報

バージョン: 1 Adminaid Full Version

お客様番号: 2 00000000

有効期限: 3 2014/05/23

ライセンスファイル: 4 [参照...]

送信: 5

1 バージョン

現在適用されているライセンスのバージョン

2 お客様番号

お客様の識別番号

3 有効期限

現在適用されているライセンスの有効期限。

4 ライセンスファイル

新しいライセンスファイルを選択する。

5 送信

ライセンスファイル情報を送信する。

ライセンス更新手順

- 1 以下の URL より、ライセンスの申し込みをしてください。
Eメールでライセンスファイルを送付いたします。
URL : <https://www.atworks.co.jp/store/Send/>
およそ 10 秒後、自動的に Adminaid からログアウトされます。



フル機能ライセンスをお求めの場合、必ずお客様番号をお知らせください。

- 2 弊社から受け取ったライセンスファイルを確認してください。
ライセンスファイルのファイル名は以下のような名前になっています。

ライセンスファイル名 : XXXXXXXXXXYYYYMMDD.lic

XXXXXXX	お客様番号
YYYYMMDD	ライセンスの有効期限



- 3 「参照」 を押し、受け取ったライセンスファイルを選択してください。

- 4 「送信」 を押します。

- 5 ライセンスファイルの正当性が確認できた場合、新しいライセンスを更新するため、
およそ 10 秒後、自動的に Adminaid からログアウトされます。



10 秒経過後も自動的にログアウトされない場合、右上の「ログアウト」 を押し、Adminaid からログアウトしてください。
ログアウトしないと新しいライセンスが反映されません。

- 6 ログアウトしましたら、再度 Adminaid にログインしてください

- 7 ログイン後、有効期限が更新されていることを確認してください。

アクセス管理

本管理ツールの管理画面へのアクセス環境を設定します。



1 アクセス環境

アクセスを許可する環境

2 アクセス環境追加

アクセスを許可する環境を追加します。

3 削除

対象のアクセス環境設定を削除します。



アクセス環境が設定されていない場合、全ての環境からアクセスが可能な状態となります。
外部からのアクセスから守るためアクセス環境の設定をおこなってください。



【アクセス環境追加】にて最初から入力されている IP アドレスは現在のクライアントのネットワーク情報です。
アクセス管理にて別ネットワーク設定を行いますと、現在接続している環境から接続できなくなりますので、
最初に自クライアントを許可してください。

アクセス環境追加手順

1 「アクセス環境追加」をクリックします。



2 アクセス環境を入力します。アクセス環境は以下の入力方式から入力してください。

IP アドレス形式	(例)	192.168.0.100
ネットワークアドレス形式	(例)	192.168.1.0/255.255.255.0 192.168.1.0/24
ドメイン形式	(例)	example.co.jp .example.co.jp .test.example.co.jp

 上記以外の入力方式では設定が行えません。



3 「決定」をクリックします。

4 追加したアクセス環境がアクセス環境リストに表示されていることを確認してください。

アクセス環境削除手順

1 アクセス環境リストより、削除したいアクセス環境の「削除」をクリックします。

2 アクセス削除画面がポップアップしますので、対象アクセス環境であることを確認してください。

a キャンセル

アクセス環境削除をキャンセルし、この画面を閉じます。

b 削除

クリックすると、アクセス環境を削除します。



3 削除ボタンをクリックしてください。

パスワード変更

本管理ツールにログインしている管理者パスワードを変更します。



The screenshot shows the 'Adminaid 管理' (Adminaid Management) interface. At the top, there is a navigation bar with the title 'Adminaid 管理' and a 'HELP' button. Below the navigation bar, there are four tabs: 'ライセンス管理' (License Management), 'アクセス管理' (Access Management), 'パスワード変更' (Password Change), and 'バージョン情報' (Version Information). The 'パスワード変更' tab is selected. The main content area contains a form with three input fields and a button. The first field is labeled '現在のパスワード *' (Current Password) and is marked with a red asterisk and the number '1'. The second field is labeled '新しいパスワード *' (New Password) and is marked with a red asterisk and the number '2'. The third field is labeled '再入力 *' (Re-enter) and is marked with a red asterisk and the number '3'. Below the input fields is a button labeled '変更' (Change) with the number '4' next to it.

パスワード変更手順

- 1【現在のパスワード】に現在の管理者パスワードを入力します。
- 2【新しいパスワード】に新しい管理者パスワードを入力します。
- 3【再入力】にて新しい管理者パスワードを再入力します。
- 4「変更」ボタンをクリックしてください。

 パスワード変更後は一旦ログアウトします。新しいパスワードにて再度ログインしてください。

 *マークの入力項目は入力必須項目です。

 各入力項目の入力仕様は72ページの「Adminaid 入力仕様一覧」を参照してください。

バージョン

Adminaid のバージョンを確認、及び Adminaid の更新を行います。



本管理ツールのバージョンを表示します。また、Adminaid の更新を行います。

バージョン更新手順

- 1 「Adminaid を更新」 ボタンを押下します。
- 2 新しい Adminaid に更新するため、およそ 10 秒後、自動的に Adminaid からログアウトされます。
 10 秒経過後も自動的にログアウトされない場合、右上の「ログアウト」 を押し、Adminaid からログアウトしてください。ログアウトしないと新しい Adminaid が反映されません。
- 3 ログアウトしましたら、再度 Adminaid にログインしてください
- 4 ログイン後、バージョンが更新されていることを確認してください。

付録 A

入力項目仕様

Adminaid 入力仕様一覧

ユーザ管理

機能	項目名	入力方式	必須	入力可能	長さ		備考
					最小	最大	
ユーザ追加	ユーザ名	自由入力	●	a ~ z、0 ~ 9、_ . \$ -	1	32	
	パスワード	自由入力	●	a ~ z、0 ~ 9、_ ! # \$ % & () * / ; : ? @ [] { } + < = >	1	32	
	パスワード (再入力)	自由入力	●	a ~ z、0 ~ 9、_ ! # \$ % & () * / ; : ? @ [] { } + < = >	1	32	
	グループ	選択	●	Adminaid 利用者が認識可能なグループ			
	アカウント (メールアドレスの@より前)	自由入力		RFC に準拠	1	32	
	メールアドレス (メールアドレスの@より後)	選択					
	ログイン可	ON/OFF					
	FTP 可	ON/OFF					
ユーザ編集	ユーザ名	入力不可					※1
	パスワード	自由入力		a ~ z、0 ~ 9、_ ! # \$ % & () * / ; : ? @ [] { } + < = >	1	32	
	パスワード (再入力)	自由入力		a ~ z、0 ~ 9、_ ! # \$ % & () * / ; : ? @ [] { } + < = >	1	32	
	グループ	選択	●	Adminaid 利用者が認識可能なグループ			
	アカウント (メールアドレスの@より前)	自由入力		RFC に準拠	3	32	
	メールアドレス (メールアドレスの@より後)	選択					
	ログイン可	ON/OFF					
	FTP 可	ON/OFF					
グループ追加	グループ名	自由入力	●	a ~ z、0 ~ 9、_ . \$ -	1	32	
メール転送 (編集)	転送先メールアドレス	自由入力		RFC に準拠	3	255	※2
	転送メール保管	ON/OFF					

(※1) 変更不可 (※2) 転送先に指定できるメールアドレスの数に制限はなし

■ Web サーバ

機能	項目名	入力方式	必須	入力可能	長さ		備考
					最小	最大	
基本設定 (編集)	ドキュメントルート	自由入力	●	半角英数字	1	255	
	アクセスログ	自由入力	●	半角英数字	1	255	
	ログフォーマット	選択	●	“combined”、“common”、 “referer”、“agent”			
	エラーログ	自由入力	●	半角英数字	1	255	
	CGI 利用	ON/OFF					
	SSI 利用	ON/OFF					
	最大接続数	自由入力	●	0～9	1	5	
	同時接続数	自由入力	●	0～9	1	5	
バーチャル ホスト (追加)	ドメイン名	自由入力	●	RFC に準拠	3	255	
	ホスト説明	自由入力					
	IP アドレス	選択	●				※1
	ドキュメントルート	自由入力	●	半角英数字	1	255	
	アクセスログ	自由入力	●	半角英数字	1	255	
	ログフォーマット	選択	●	“combined”、“common”、 “referer”、“agent”			
	エラーログ	自由入力	●	半角英数字	1	255	
	CGI 利用	ON/OFF					
バーチャル ホスト (編集)	ドメイン名	入力不可					※2
	ホスト説明	自由入力					
	IP アドレス	選択	●				
	ドキュメントルート	自由入力	●	半角英数字	1	255	
	アクセスログ	自由入力	●	半角英数字	1	255	

(※1) サーバの eth0 の IP アドレス (※2) 変更不可

機能	項目名	入力方式	必須	入力可能	長さ		備考
					最小	最大	
バーチャル ホスト (編集)	ログフォーマット	選択	●	“combined”、“common”、 “referer”、“agent”			
	エラーログ	自由入力	●	半角英数字	1	255	
	CGI 利用	ON/OFF					
	SSI 利用	ON/OFF					
アクセス 解析 (編集)	利用状況	選択					

■ DNS サーバ

機能	項目名	入力方式	必須	入力可能	長さ		備考
					最小	最大	
ドメイン追加	ドメイン	自由入力	●	RFC に準拠	3	200	
	IP アドレス	選択	●				※ 1
	ドメイン説明	自由入力		任意			
ドメイン編集	ドメイン説明	自由入力		任意			
	TTL	自由入力	●	0 ~ 9	-	-	
	Refresh	自由入力	●	0 ~ 9	-	-	
	Retry	自由入力	●	0 ~ 9	-	-	
	Expire	自由入力	●	0 ~ 9	-	-	
	Minimum	自由入力	●	0 ~ 9	-	-	
	リソースレコード情報	自由入力	●				

(※ 1) サーバの eth0 の IP アドレス

■ メールサーバ

機能	項目名	入力方式	必須	入力可能	長さ		備考
					最小	最大	
ドメイン追加	ドメイン名	自由入力	●	RFC に準拠	3	255	
	ドメイン説明	自由入力			-	-	

機能	項目名	入力方式	必須	入力可能	長さ		備考
					最小	最大	
ドメイン編集	ドメイン名	入力不可					※1
	ドメイン説明	自由入力		0～9	-	-	

(※1) 変更不可

■ システム管理

機能	項目名	入力方式	必須	入力可能	長さ		備考	
					最小	最大		
DNS 設定	ネームサーバ1	自由入力		IP アドレス、 あるいはドメイン形式と同様	3	63		
	ネームサーバ2	自由入力		IP アドレス、 あるいはドメイン形式と同様	3	63		
	ネームサーバ3	自由入力		IP アドレス、 あるいはドメイン形式と同様	3	63		
日付/時刻設定	時刻設定タイプ	選択						
	自動	NTP サーバ	自由入力	●	RFC に準拠	3	255	
		分	選択		“毎分”、“0”～“59”			
		時	選択		“毎時”、“0”～“23”			
		日	選択		“毎日”、“1”～“31”			
		月	選択		“毎月”、“1”～“12”			
		曜日	選択		“毎日”、“日”、“月”、“火”、 “水”、“木”、“金”、“土”			
	手動	日付	自由入力	●	0～9、- / ※1	-	-	
時刻		自由入力	●	0～9、:	-	-		

(※1) 実際は日付として認識できるものであれば OK

■ システムログ

機能	項目名	入力方式	必須	入力可能	長さ		備考
					最小	最大	
ログ検索	対象ログファイル	選択					
	検索キーワード	自由入力		任意	-	-	

■ アクセス環境

機能	項目名	入力方式	必須	入力可能	長さ		備考
					最小	最大	
アクセス環境追加	アクセス環境	自由入力	●	IP アドレス、あるいはドメイン形式と同様	3	63	
	SSH	ON/OFF					
	FTP	ON/OFF					
	Telnet	ON/OFF					
アクセス環境編集	アクセス環境	入力不可					※1
	SSH	ON/OFF					
	FTP	ON/OFF					
	Telnet	ON/OFF					

(※1) 変更不可

■ スケジューリング

機能	項目名	入力方式	必須	入力可能	長さ		備考
					最小	最大	
一覧	有効	ON/OFF					
スケジュール追加	ユーザ	自由入力	●	a ~ z、0 ~ 9、_、\$、-	1	32	
	コマンド	自由入力	●	半角英数字	1	255	
	分	選択		“ 毎分 ”、“0” ~ “59”			
	時	選択		“ 毎時 ”、“0” ~ “23”			
	日	選択		“ 毎日 ”、“1” ~ “31”			
	月	選択		“ 毎月 ”、“1” ~ “12”			
	曜日	選択		“ 毎日 ”、“日”、“月”、“火”、“水”、“木”、“金”、“土”			
	有効	ON/OFF					

■ ドメイン管理

機能	項目名	入力方式	必須	入力可能	長さ		備考
					最小	最大	
システム ドメイン編集	システムドメイン	自由入力	●	RFC に準拠	3	255	
	FQDN	自由入力	●	RFC に準拠	3	255	
バーチャル ドメイン追加	ドメイン名	自由入力	●	RFC に準拠	3	255	
	ドメイン説明	自由入力		任意	-	-	
	IP アドレス	自由入力	●※1	“*”一文字か 0～9、./	1	31	
	FTP ユーザ名	自由入力	●	a～z、0～9、_.\$-	1	32	
	FTP グループ名	自由入力	●	a～z、0～9、_.\$-	1	32	
	FTP パスワード	自由入力	●	a～z、0～9、_!#\$%&()* /: ; ? @ [] { } + < = >	1	32	
	FTP パスワード (再入力)	自由入力	●	a～z、0～9、_!#\$%&()* /: ; ? @ [] { } + < = >	1	32	
	Adminaid ID	自由入力	●	a～z、0～9、_.\$-	1	32	
	Adminaid パスワード	自由入力	●	a～z、0～9、_!#\$%&()* /: ; ? @ [] { } + < = >	1	32	
	Adminaid パスワード (再入力)	自由入力	●	a～z、0～9、_!#\$%&()* /: ; ? @ [] { } + < = >	1	32	
	Web	選択		“有効”、“無効”			
	ドキュメントルート	自由入力	●※1	半角英数字	1	255	
	アクセスログ	自由入力	●※1	半角英数字	1	255	
	ログフォーマット	選択		“combined”、“common”、“referer”、“agent”			
	エラーログ	自由入力	●※1	半角英数字	1	255	
	CGI 利用	ON/OFF					
	SSI 利用	ON/OFF					
	メール	選択		“有効”、“無効”			
DNS	選択		“有効”、“無効”				

(※1) Web が有効の場合

機能	項目名	入力方式	必須	入力可能	長さ		備考
					最小	最大	
バーチャル ドメイン編集	ドメイン名	入力不可					※1
	ドメイン説明	自由入力		任意	-	-	
	IP アドレス	入力不可					※1
	FTP ユーザ名	自由入力	●	a ~ z, 0 ~ 9, _ . \$ -	1	32	
	FTP グループ名	自由入力	●	a ~ z, 0 ~ 9, _ . \$ -	1	32	
	FTP パスワード	自由入力	●	a ~ z, 0 ~ 9, _ ! # \$ % & () * / ; : ? @ [] { } + < = >	1	32	
	FTP パスワード (再入力)	自由入力	●	a ~ z, 0 ~ 9, _ ! # \$ % & () * / ; : ? @ [] { } + < = >	1	32	
	Adminaid ID	自由入力	●	a ~ z, 0 ~ 9, _ . \$ -	1	32	
	Adminaid パスワード	自由入力	●	a ~ z, 0 ~ 9, _ ! # \$ % & () * / ; : ? @ [] { } + < = >	1	32	
	Adminaid パスワード (再入力)	自由入力	●	a ~ z, 0 ~ 9, _ ! # \$ % & () * / ; : ? @ [] { } + < = >	1	32	
	Web	選択		“有効”、“無効”			
	メール	選択		“有効”、“無効”			
DNS	選択		“有効”、“無効”				

(※1) 変更不可

Adminaid 管理

機能	項目名	入力方式	必須	入力可能	長さ		備考
					最小	最大	
アクセス管理	アクセス環境	自由入力	●	IP アドレス、 あるいはドメイン形式と同様	3	63	
パスワード 変更	現在のパスワード	自由入力	●	a ~ z, 0 ~ 9, _ ! # \$ % & () * / ; : ? @ [] { } + < = >	1	32	
	新しいパスワード	自由入力	●	a ~ z, 0 ~ 9, _ ! # \$ % & () * / ; : ? @ [] { } + < = >	1	32	
	再入力	自由入力	●	a ~ z, 0 ~ 9, _ ! # \$ % & () * / ; : ? @ [] { } + < = >	1	32	

メモ

メモ

メモ

メモ

Adminaid 操作マニュアル

2013年5月17日（第1版）

株式会社 エーティーワークス

〒930-0856 富山県富山市牛島新町4-5

TEL: 0120-0-80586 / FAX: 076-443-5255

E-Mail: adcl@atworks.co.jp

<http://www.atworks.co.jp/>

<https://www.atworks.co.jp/store/> (オンラインショップページ)

<http://www.at-link.ad.jp/> (at+link 専用サーバサービス)

The logo for A.T.WORKS, featuring a stylized, overlapping 'A' and 'W' in a dark grey color.

A.T.WORKS 株式会社 エーティーワークス

Copyright © 2013 A.T.WORKS, Inc. All rights reserved.